

鳥 取 県

鳥 取 県 退 職 校 長 会

設立 昭和50年 7 月

1. 現在までの歩み

今年、平成27年は鳥取県退職校長会が結成されて40周年を迎えることになる。現在この周年記念事業の成功を祈念して各事業とも大詰め段階にきている。5月15日には湯梨浜町の水明荘に於いて、全連退会長出席のもと盛大に結成40周年を祝うことになっている。

本会は、昭和50年7月に名目会員100名ほどで結成され全連退に即加入した。その後、紆余曲折を経て昭和61年10月に第1回の総会を開催。本格的に活動を展開していった。

平成11年には、会員数も800名近くになり、総会を代議員制に変え充実発展を願った。代議員は各支部の会員数に比例して割り振られ、代議員会が唯一の決議機関となった。

また、専門部の活動も当初3専門部で発足したが、平成2年には厚生部を新設して4部制を敷いた。その後、構造改革の波にもまれて平成6年には「総務研修」「調査広報」「福利厚生」の3部に集約され現在に至っている。



大山南壁

2. 最近の活動状況

◎とっとり教育の日の制定・推進

先輩諸氏が長年取り組まれてきた悲願の教育の日の制定が、ようやく平成25年2月24日に制定された。全国で33番目の制定県となったわけである。

ここに至るまでの道のりは長かった。県議会に上程されるものの審議未了で日の目を見ないこともあったが、他の教育関係団体と連携して地道に歩を進め、多くの団体・個人の協賛を得



とっとり教育の日 倉吉大会

て制定の実現にこぎつけたのであった。そして、毎年11月1日を「とっとり教育の日」とし、県民が教育について考える契機の日と位置付けた。教育の日の運営は、退職校長会を中心として5つの団体で推進委員会を組織し、当面は広く鳥取県民に教育の日をアピールするため11月1日に大会を開いて、東部・中部・西部と県下3地区持ち回りで開催することにした。

平成25年には記念すべき第1回大会を鳥取市で開催した。内容は、講演と実践発表2本である。子供たちにかかわりのある団体の取り組みを紹介してもらい、多くの示唆を与えていただいた。

第2回は平成26年に倉吉市で開催され多くの一般市民たちの参加を見た。課題は山積しているが、一歩ずつ前進中である。